

「RCEPを使ってみよう」セミナー



2022年2月3日
東京共同会計事務所



■ 弊所のご紹介

社名 : 東京共同会計事務所

設立 : 1993年8月

所在地 : 東京都千代田区丸の内3-1-1
国際ビル9階

代表者 : 内山 隆太郎

対応言語 : 日本語・英語・中国語・ベトナム語・タイ語

構成員 : 281名 (2022年1月1日現在)

- 公認会計士 (30名)
- 会計士補・公認会計士新試験合格者 (2名)
- 税理士 (42名)
- 税理士科目5科目合格者 (3名)
- 科目合格者 (19名)
- 司法書士 (7名)
- 行政書士 (3名)
- 弁理士 (3名)
- 通関士有資格者 (13名)

問合せ番号 : 03-5219-8660
メールアドレス : epa.info@tkao.com
Website : www.tkao.com/epa/



■ 弊所の概要 -EPAサービス-

追従なき高品質なサービスの提供

EPAコンサルティング

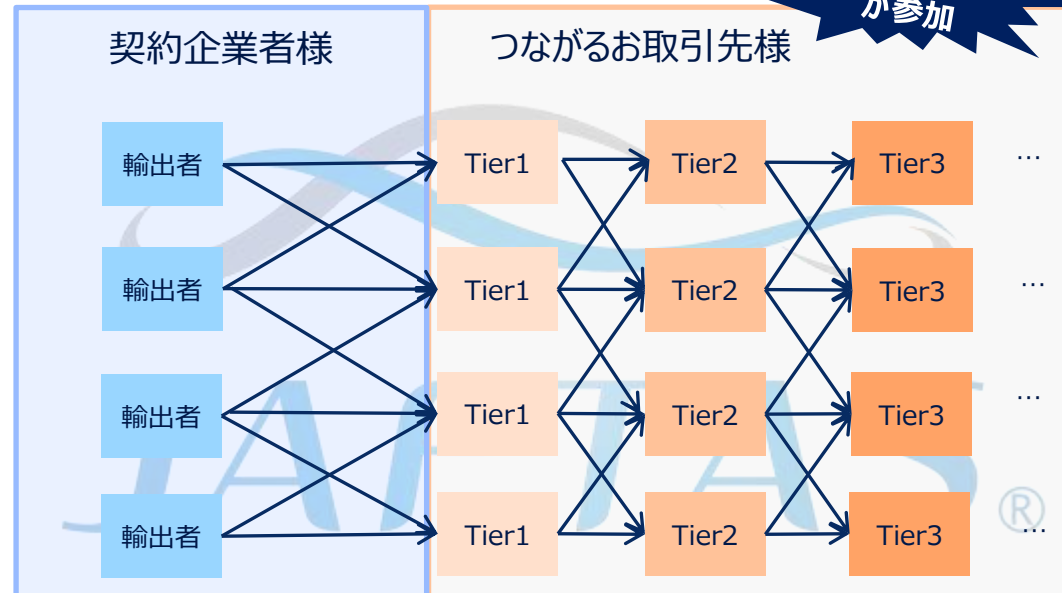
国内で最も経験豊富な
EPAプロフェッショナル集団

- 対応会社数**5,000社超**
- 経済産業省委託事業「EPA相談デスク」
7年連続受注
- 日本唯一のEPA相談デスク運営事業者
- 個別相談実績約**35,000件超**

原産性証明システム

輸出者とサプライヤーを繋ぎ
EPA原産性調査を行うクラウドサービス
(JAFTAS)

1,400社超
が参加



■ 登場人物のご紹介

先生役
藤原 彩香



輸出者兼
生産者（花子）
江良 泉



■ 本セミナーの流れ

第一部

EPAとは？

第二部

RCEPを使ってみよう！

－ 休憩



第三部

RCEPを効率的に使いたい！

生鮮品でも
効率的に使えます！

－ 質疑応答

■ 本日のゴール

本セミナー受講後には、
このようになっていることが目標です！

EPAの概要が
分かった！



RCEPのメリット
が分かった！



RCEPを使って
輸出してみたい！



■ 本セミナーの流れ

第一部

EPAとは？

第二部

RCEPを使ってみよう！

－ 休憩



第三部

RCEPを効率的に使いたい！

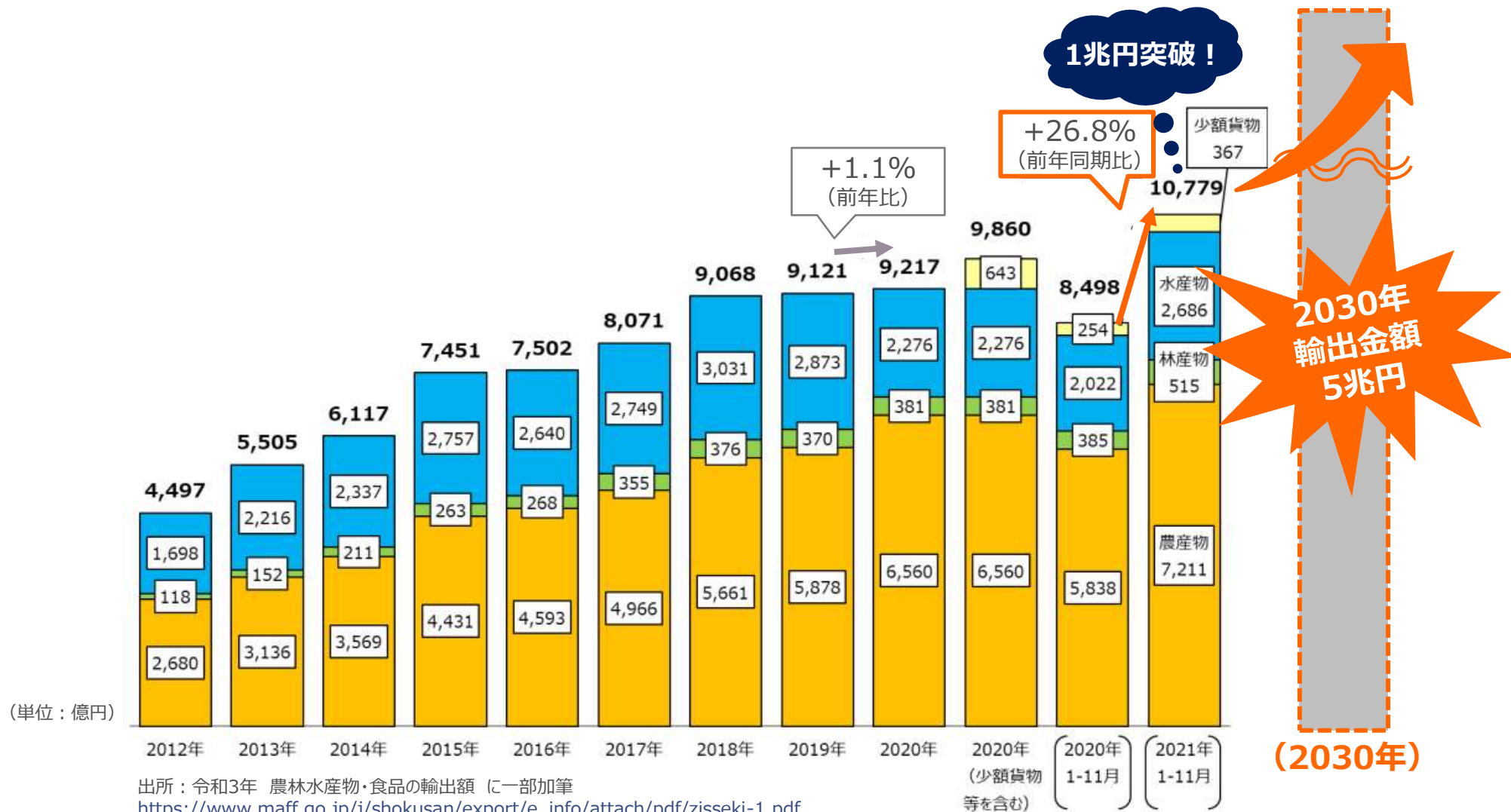
生鮮品でも
効率的に使えます！

－ 質疑応答

第一部：EPAとは？

■日本の食品輸出動向

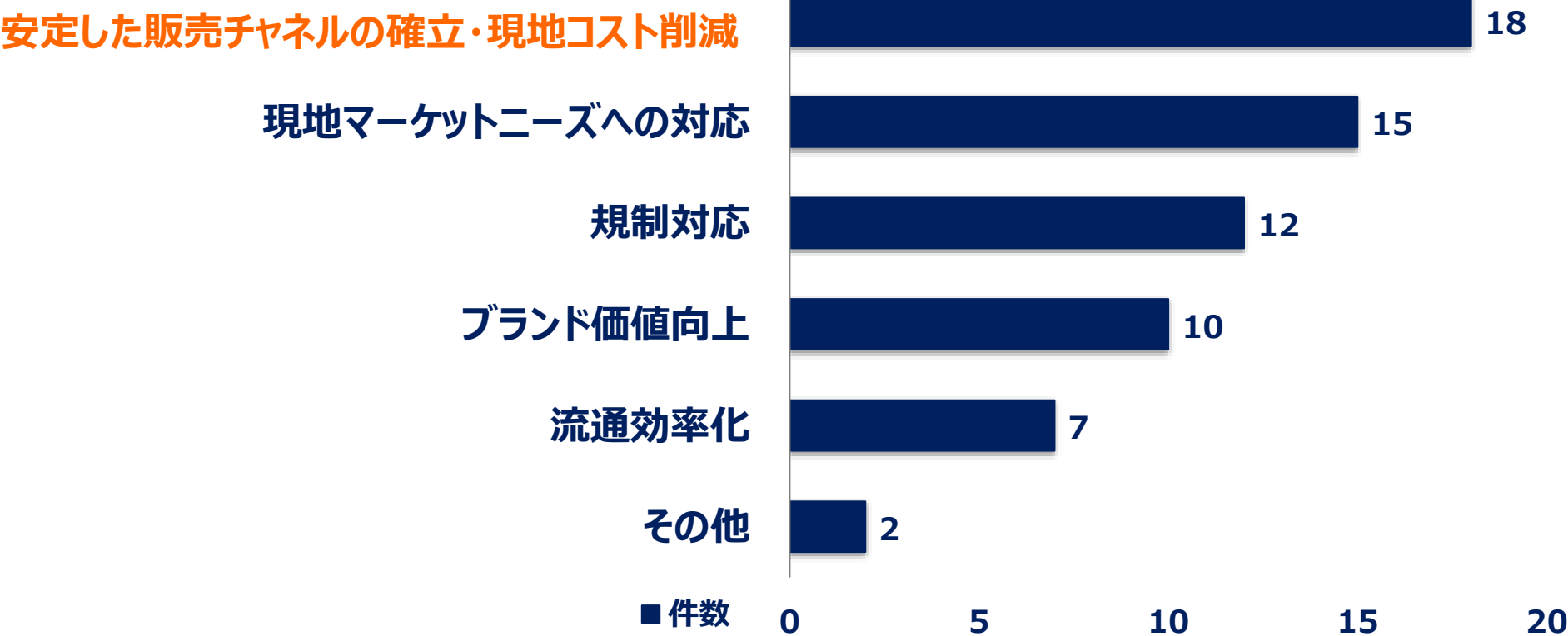
今後ますます食品輸出のチャンスは広がっていくことが想定される



■日本の食品輸出動向

EPA活用効果は現地コスト削減・販売先拡大

農林水産大臣賞*（平成29年－令和3年度）事例分析
輸出促進のために実施した施策



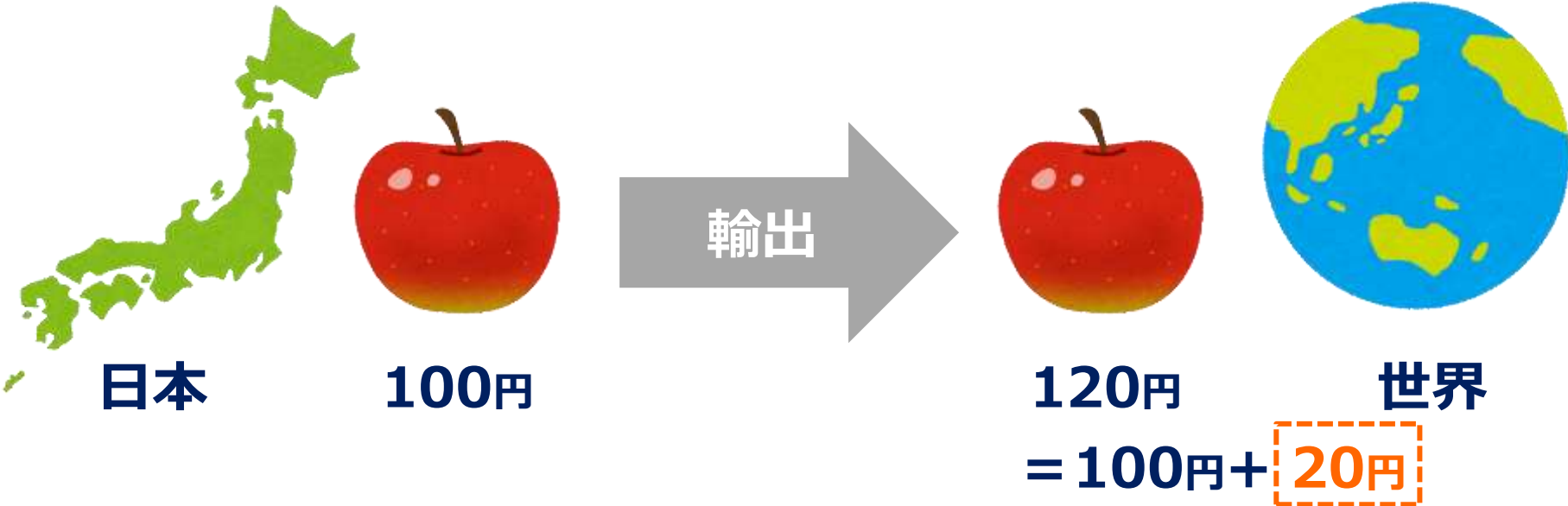
*データ出所：輸出に取り組む優良事業者表彰 よりTKAOが分析し作成
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/torikumi_zirei/index.html

■「関税」？？たまにニュースで聞くけどなんだっけ？

関税＝海外から商品を輸入する際にかかる税金

海外から輸入される商品に税金をかけることで、
輸入品に対するコストを増加させ、国内の産業を守る効果がある

りんごの関税率が20%だった場合

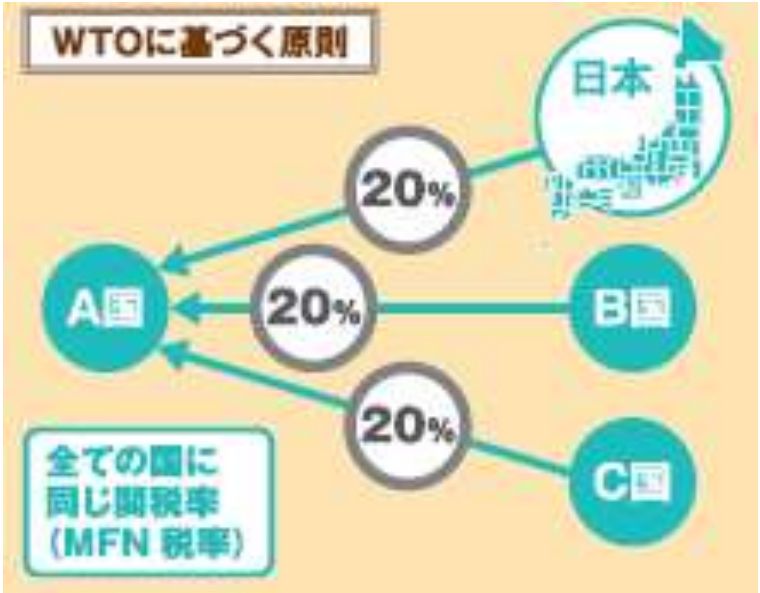


■「関税が削減・撤廃される」ってどういうこと？

輸入するときにかかるコストを削減すること

通常より低い関税率が適用されることによって、関税額を削減できる

全ての国に同じ関税率
(MFN税率)

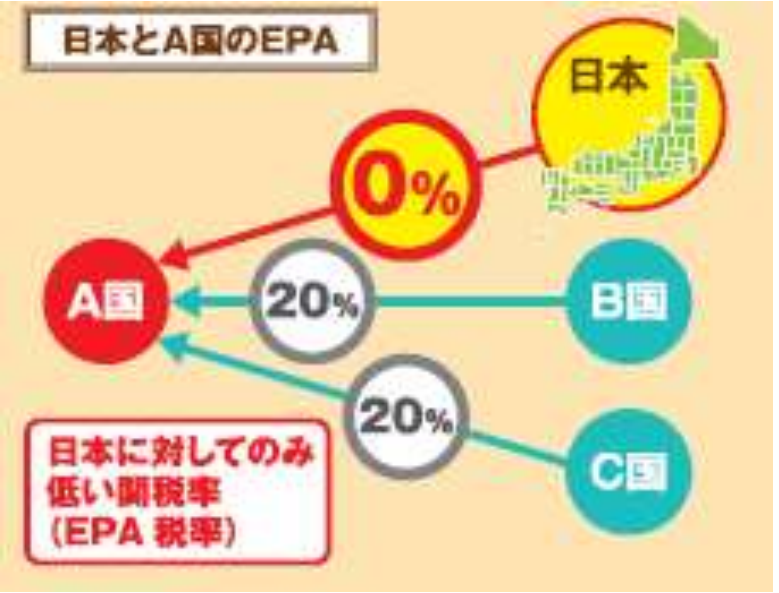


WTO : World Trade Organization (世界貿易機関)
MFN : Most Favoured Nation Treatment (最恵国待遇)
MFN税率 : 通常適用される関税率

課税価格* 100円 × 20% = 関税額 20円

* 現地の法令に則った課税価格

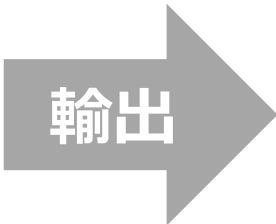
日本に対してのみ低い関税率
(EPA (FTA) 税率)



課税価格* 100円 × 0% = 関税額 0円

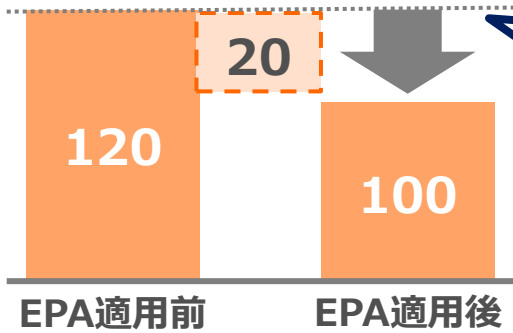
■ 輸出者・生産者にもメリットある？

EPA対応の依頼に協力



輸入者のコスト削減 = 利益UP

※輸入関税が売主負担となるインコタームズDDP（インコタームズ2020）の場合は対象外



輸出者・生産者も
HAPPY！

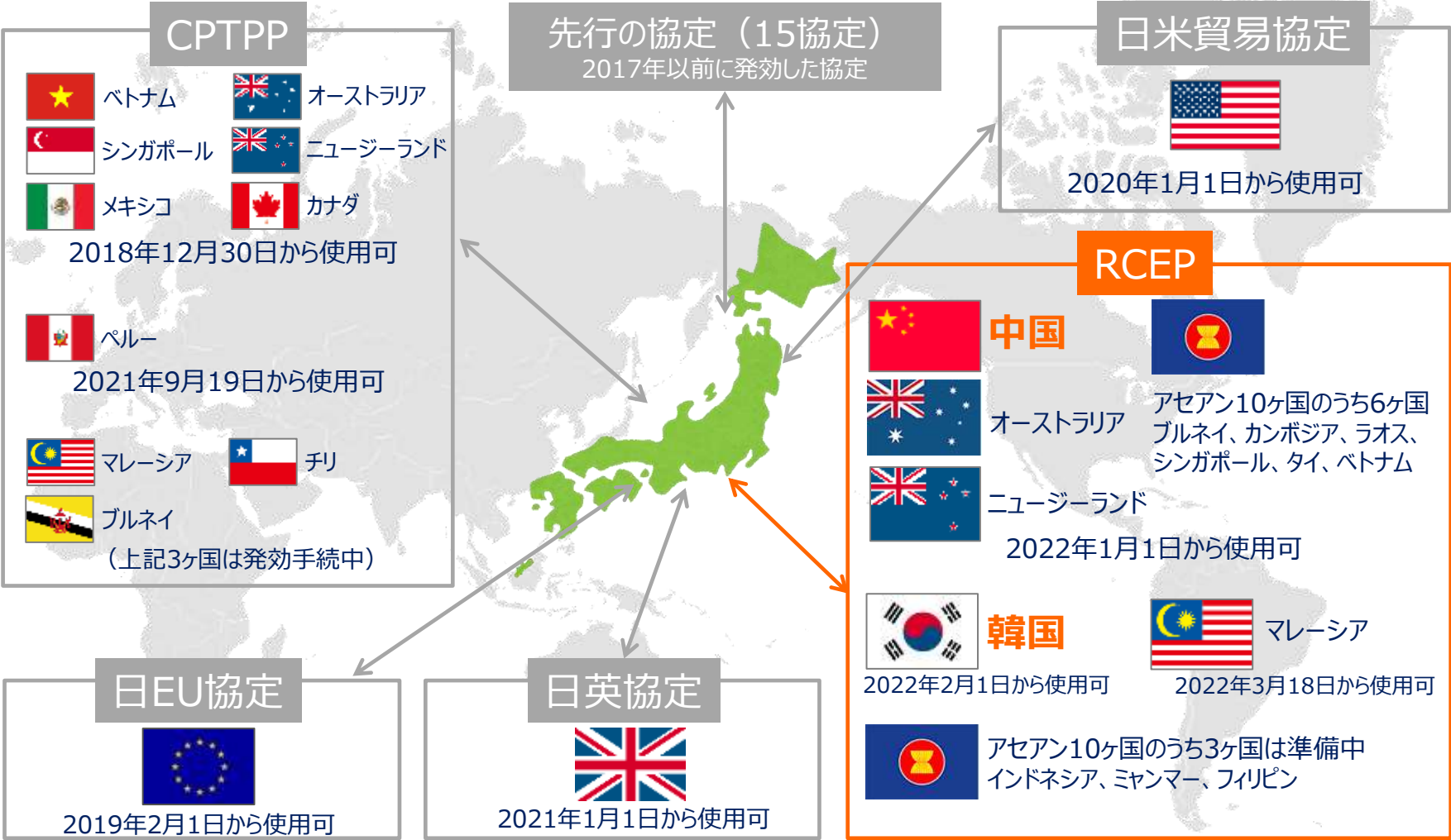


販売量UP
販路拡大

価格競争力UP

■ EPA利用のチャンスが拡大している！

アジアを中心に現在20協定が利用可能
2018年以降メガEPA【CPTPP/日EU/RCEP】を相次いで締結



第一部：EPAとは？

■ 証明制度とは？どんな違いがある？

各EPAと証明制度の
一覧はP13参照

各EPAで採用されている証明制度が異なる

第三部にて
ご説明します！

RCEPでは、全種類の証明制度が導入されている！！

ただし、発効時に輸出者自己証明制度が利用できるのは日本・オーストラリア・ニュージーランドの3ヶ国のみ

比較ポイント	第三者証明制度	認定輸出者制度*	自己証明制度
1 証明書	第一種特定原産地証明書	第二種特定原産地証明書	原産地証明書 (自己申告書)
2 ポイント	日本商工会議所（日商） への手続きが必要	・日商手続き不要 ・経済産業省の認定必要 (認定有効期限：3年)	・日商手続き不要 ・経済産業省の認定不要
3 時間・コスト	<p><時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業登録：原則7営業日 ・判定依頼～承認：原則3営業日 ・発給申請～取得：原則2営業日 <p><コスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発給費用：1件2,000円+500円× 産品数 	<p><時間></p> <p>認定輸出者自ら原産地証明書を作成 することができるため、第三者証明制度と 比較すると短時間で書類準備が可能。</p> <p><コスト></p> <p>登録免許税法に基づく登録免許税： 9万円 認定更新手数料：5,000円 (電子申請の場合は4,550円) ※登録・更新費用以外は無料。</p>	<p><時間></p> <p>輸出者自ら証明するため、第三者証明 制度と比較すると短時間で書類準備が 可能。</p> <p><コスト></p> <p>日商手続きや経済産業省の認定など 公的手続きが不要な為、他の2つの 制度と比べコストもかからない。</p>

第三者証明制度



認定輸出者制度



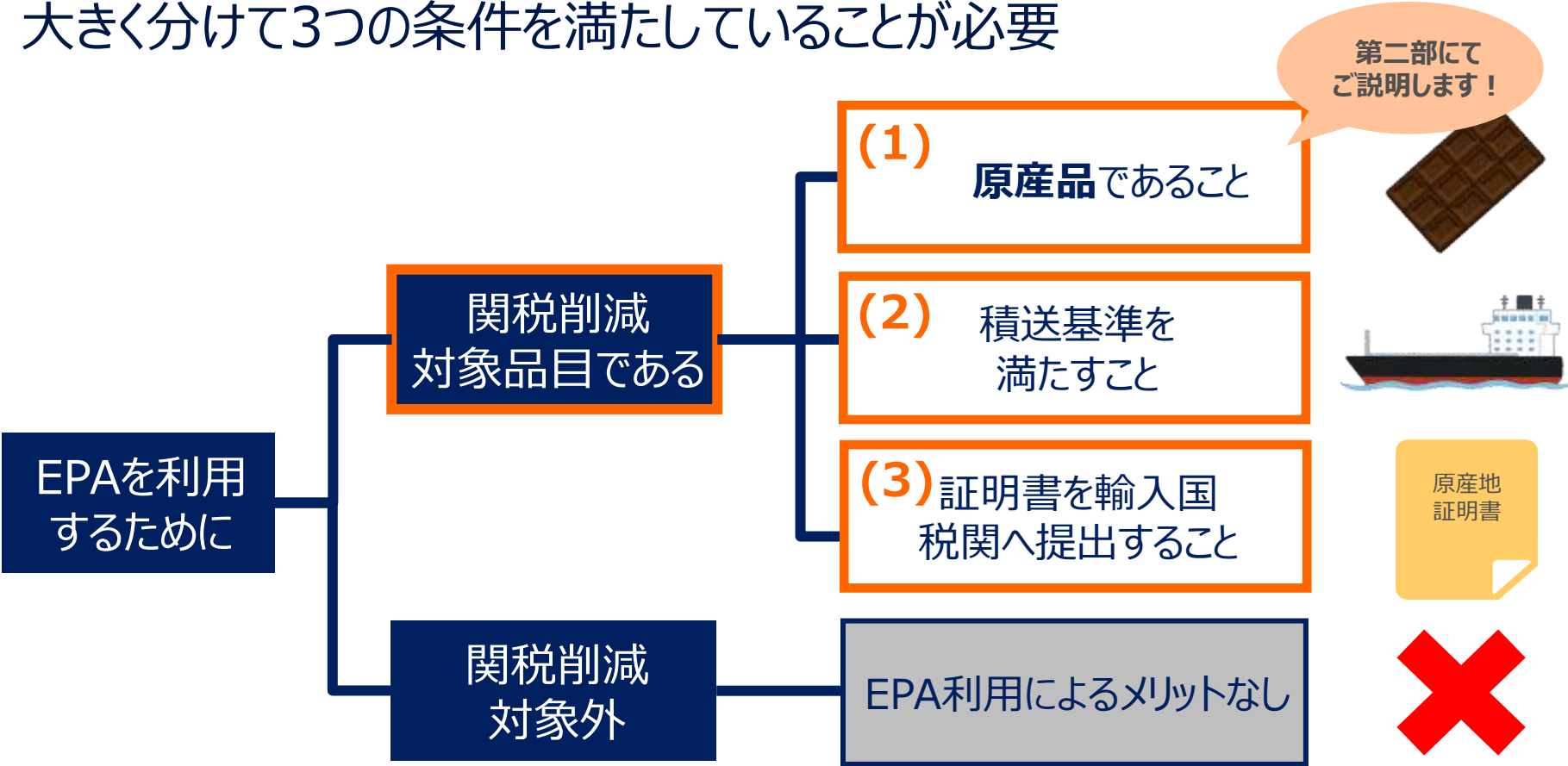
自己証明制度

*認定輸出者制度を採用している協定は、RCEP協定、日メキシコ協定、日スイス協定、日ペルー協定

■ EPAを使ってみたくなってきた！ 何から始める？

EPAを利用するためには3つの条件を満たすこと

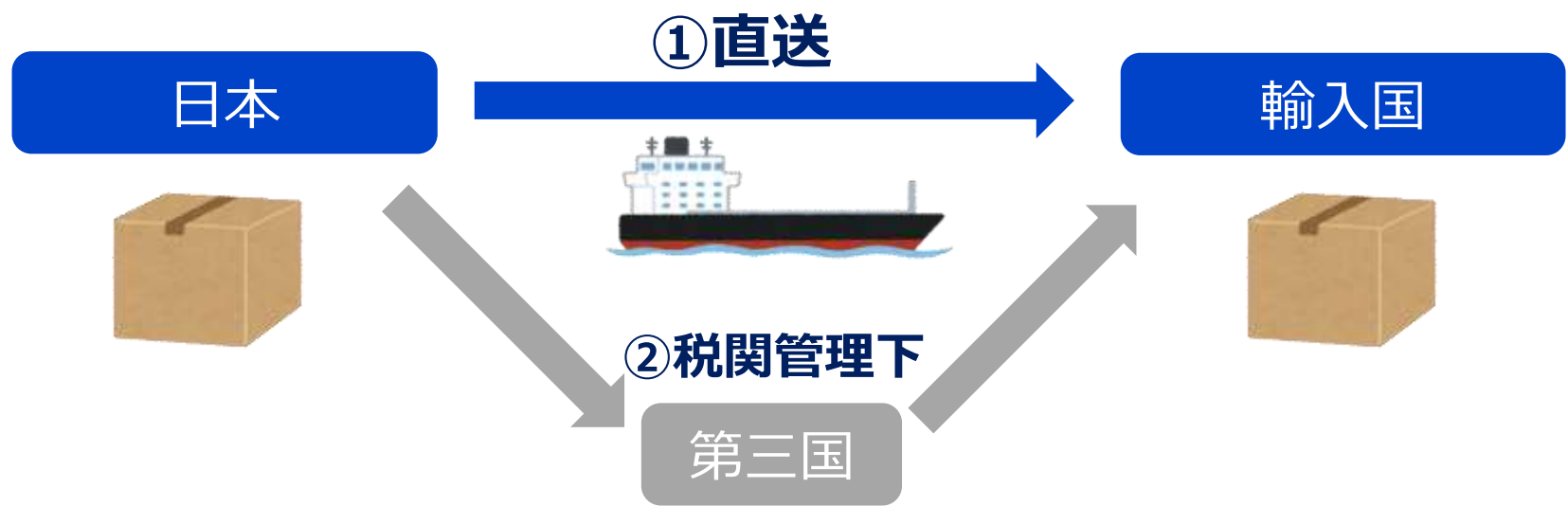
EPAを利用するためには、関税削減対象品目であることを前提として大きく分けて3つの条件を満たしていることが必要



■ 積送基準ってどんな基準？

輸入国に到着するまで原産品としての資格があるか？

原産品が輸入国へ到着するまでに、原産品としての資格を失っていないかどうか確認が必要

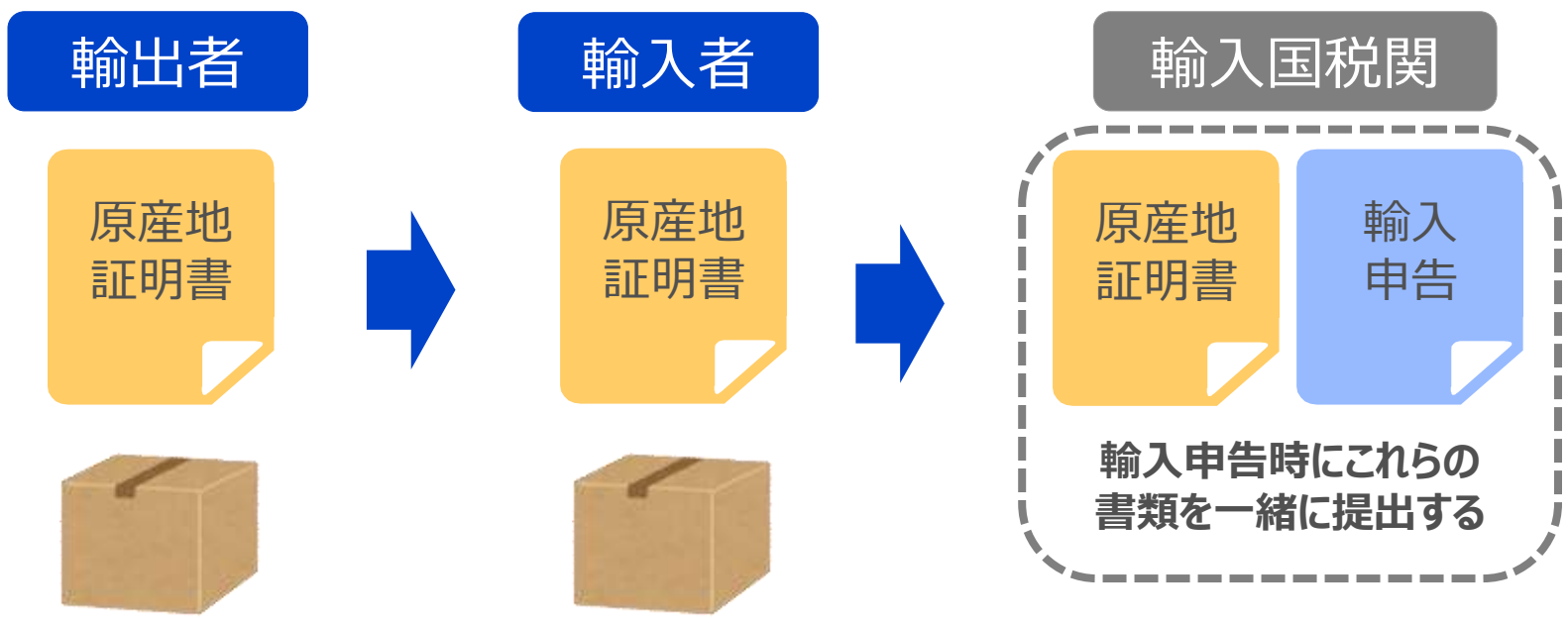


②の場合においては、輸入者は輸入国の要請に応じて、
通し船荷証券などの運送書類、
経由地で実質的な加工を施していないことを示す根拠（非加工証明書等）
を提出する必要がある

■ 証明書ってどんな証明書？

原産品であることを証明する書類（原産地証明書）

原産地証明書を輸入国税関に提出することで、
EPA税率（関税削減）が適用される



つ い先日発効した新しいEPA = RCEP

ポイント



RCEPの発効により、EPA利用のチャンス
が拡大！上手く利用するためには、ルール
の理解が必要！



■ 本セミナーの流れ

第一部

EPAとは？

第二部

RCEPを使ってみよう！

－ 休憩



第三部

RCEPを効率的に使いたい！

生鮮品でも
効率的に使えます！

－ 質疑応答



第1問

ガーナから輸入したカカオ豆を日本で板チョコにして、タイへ輸出しました。これはRCEPにおいて、日本の原産品となるでしょうか？



原産品となる



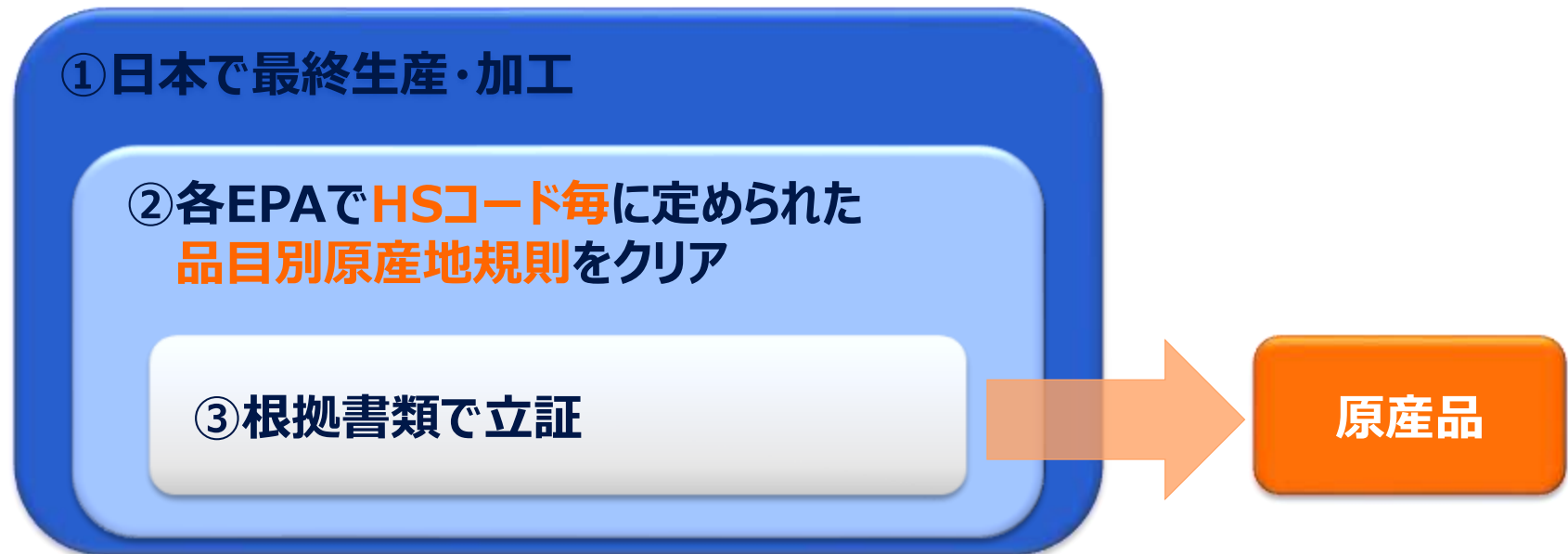
原産品とならない

詳しく👉

EPAの原産品の考え方

以下3点、全てを満たすもの = EPAの原産品

- ① 日本で最終生産・加工がされている
- ② 各EPAでHSコード毎に定められた品目別原産地規則をクリアしている
- ③ ①②を満たしていることが根拠書類で証明されている



詳しく👉

品目別原産地規則とは・・・


EPAの原産品と認められる基準で
HSコード（品目） 毎かつEPA毎に異なる



例えば・・・

各EPAの板チョコ（1806.32）の品目別原産地規則を比べてみると・・・

HSコード



1806.32

18（類）
ココア及びその調製品

1806（項）
チョコレートその他のココアを含有する調製食料品

1806.32（号）
－ その他のもの（塊状、板状又は棒状のものに限る。）
－ 詰物をしてないもの

×

×

日タイ協定・日アセアン協定

RCEP

品目別
原産地規則

品目別
原産地規則

CC

CTH

要約

要約

18類に入る非原産材料を使用してはならない

1806項に入る非原産材料を使用してはならない



各EPAの板チョコ（1806.32）の品目別原産地規則を比べてみると・・・

豆の収穫

カカオ豆 (1801)

海外産

生産

18類以外の材料は海外産でもOK!

日本で言うこと

チョコレート

板チョコ (1806.32)

非原産

カカオ豆 (1801)

海外産

1806項以外の材料は海外産でもOK!

日本で言うこと

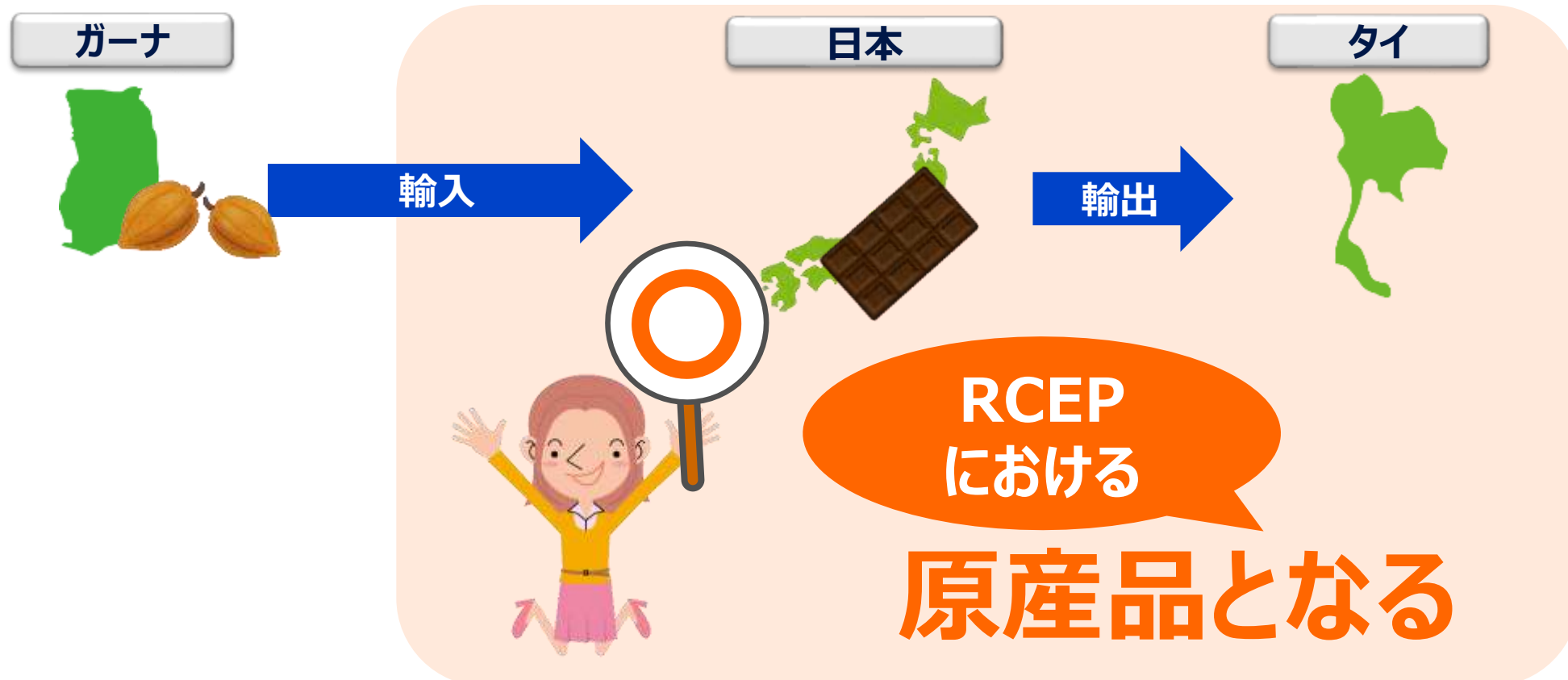
板チョコ (1806.32)

原産



正解

ガーナから輸入したカカオ豆を日本で板チョコにして、タイへ輸出しました。これはRCEPにおいて、日本の原産品となるのでしょうか？





か くにんしょう！ 品目別原産地規則

ポイント



EPAの原産地証明書を取得するため
には、**日本で生産していることに加えて
条件**があり、それが**品目別原産地規則**！





第2問

日本で生産した味噌と、中国で生産した豆腐を使い
日本でフリーズドライのお味噌汁を作り、タイへ輸出
します。これはRCEPにおいて日本の原産品となるで
しょうか？



原産品となる



原産品となる
可能性がある



原産品とならない

例えば・・・

各EPAのお味噌汁（2104.10）の品目別原産地規則を比べてみると・・・

HSコード



2104.10

21（類）
各種の調製食料品

2104（項）
スープ、ブロス、スープ用又はブロス用の調製品
及び均質混合調製食料品

2104.10（号）
ー スープ、ブロス及びスープ用又はブロス用の調製品



日タイ協定・日アセアン協定・RCEP



品目別
原産地規則

CC

要約

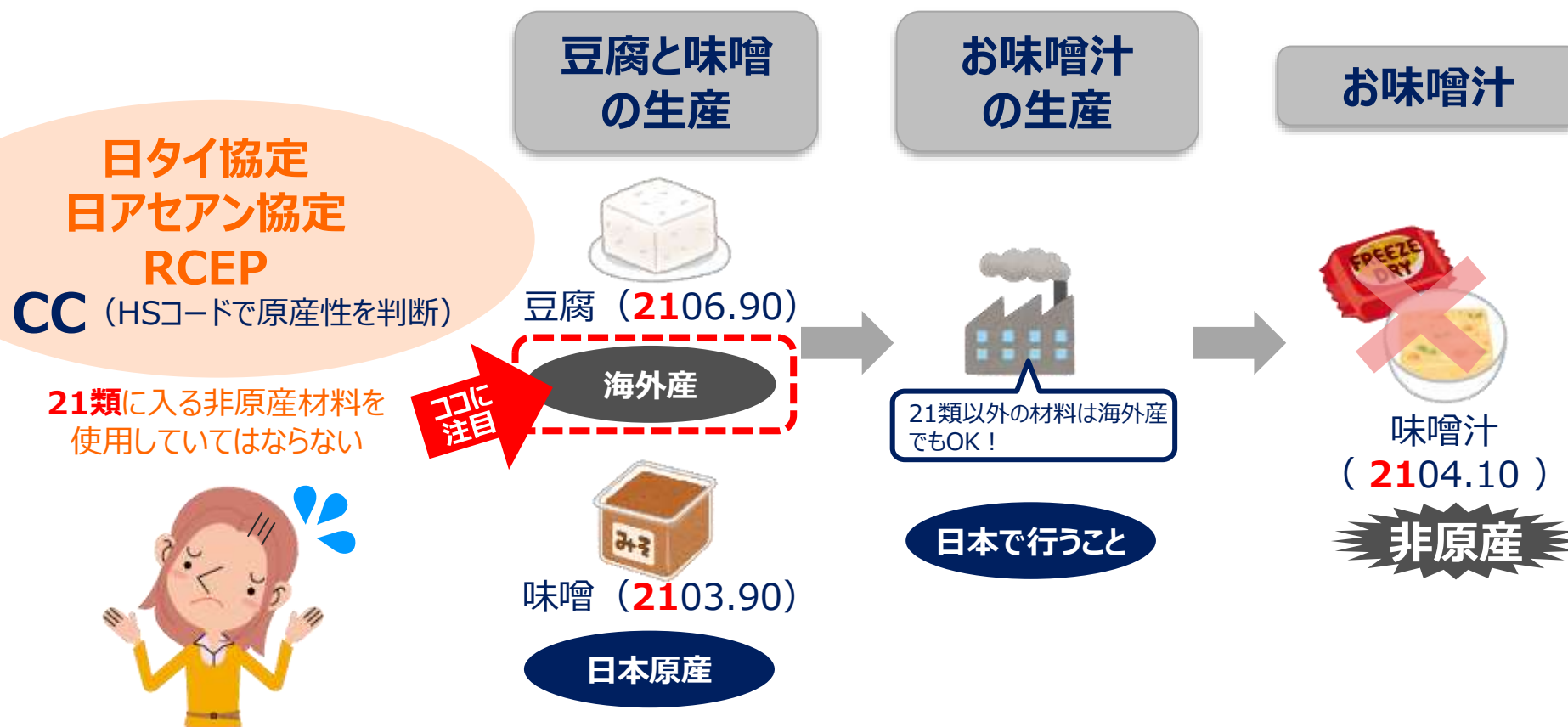


21類に入る非原産材料を使用してはならない

例えば・・・

各EPAのお味噌汁（2104.10）の品目別原産地規則を比べてみると・・・

各EPAを利用して、日本で生産したお味噌汁をタイへ輸出する場合、各輸入国でEPA税率を適用させるためには・・・



詳しく

そもそも...

**EPAを締結するということは、お互いの国で
貿易を促進しようと約束すること**

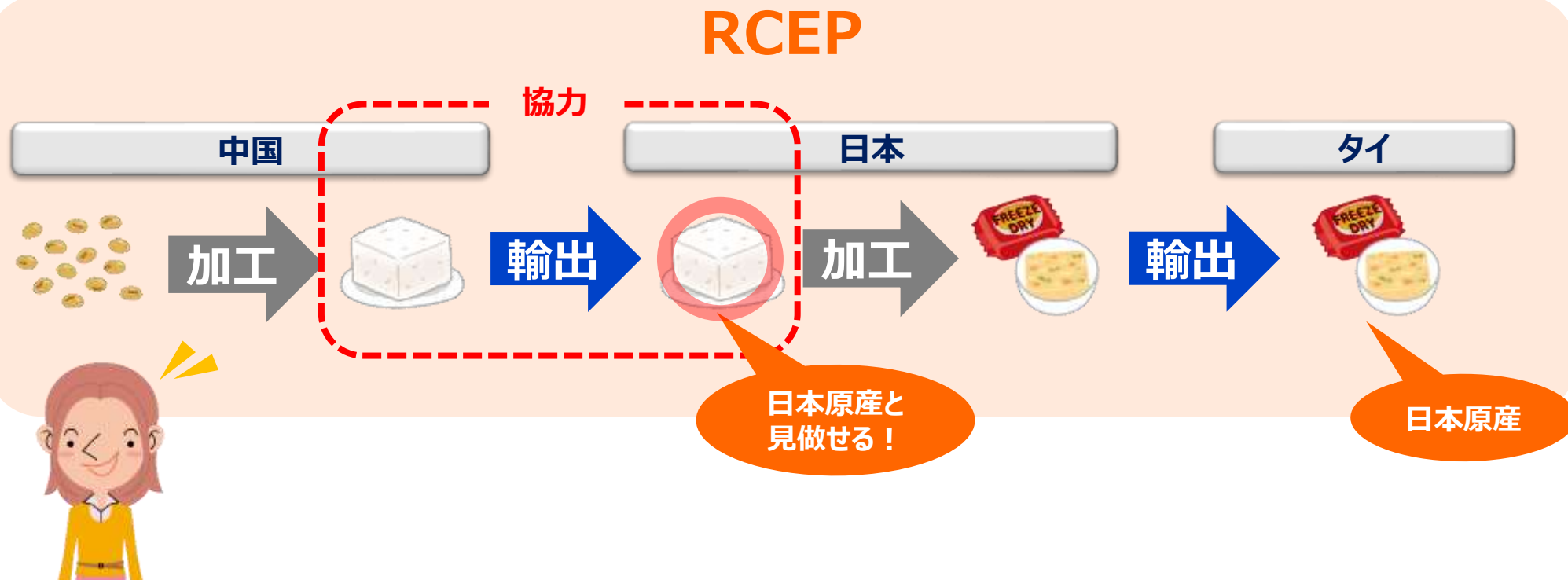


詳しく👉

そのため・・・

RCEP加盟国からの輸入品で
RCEPの原産品となる材料を
日本の原産材料と見做すことができます

累積





正解

日本で生産した味噌と、中国で生産した豆腐を使い
日本でフリーズドライのお味噌汁を作り、タイへ輸出
します。これはRCEPにおいて日本の原産品となるで
しょうか？



お友達の国と累積を！

ポイント



原材料の調達をRCEP締約国内で行うことで、品目別原産地規則を満たせることも！
累積を上手に活用しましょう！



■ 本セミナーの流れ

第一部

EPAとは？

第二部

RCEPを使ってみよう！

－ 休憩



第三部

RCEPを効率的に使いたい！

生鮮品でも
効率的に使えます！

－ 質疑応答

■ 本セミナーの流れ

第一部

EPAとは？

第二部

RCEPを使ってみよう！

－ 休憩



第三部

RCEPを効率的に使いたい！

生鮮品でも
効率的に使えます！

－ 質疑応答

アジアだと飛行機を使って輸出することが多く、すぐに輸出品が届いてしまうのですが、原産地証明書の発行は間に合うでしょうか？



- 今回RCEPにおいて、第三者証明制度を利用する場合、時短ポイントは2つあります。
- ①原産地証明書の電子化
(RCEP協定、日タイ協定のみ)
 - ②過去の判定結果の利用
(同一協定、同一製品を繰り返し輸出する場合)

■ 証明制度とは？どんな違いがある？

各EPAで採用されている証明制度が異なる

各EPAと証明制度の一覧はP13参照

RCEPでは、全種類の証明制度が導入されている！！

ただし、発効時に輸出者自己証明制度が利用できるのは日本・オーストラリア・ニュージーランドの3ヶ国のみ

比較ポイント	第三者証明制度	認定輸出者制度*	自己証明制度
1 証明書	第一種特定原産地証明書	第二種特定原産地証明書	原産地証明書 (自己申告書)
2 ポイント	日本商工会議所（日商）への手続きが必要	・日商手続き不要 ・経済産業省の認定必要 (認定有効期限：3年)	・日商手続き不要 ・経済産業省の認定不要
3 時間・コスト	<p><時間></p> <ul style="list-style-type: none">・企業登録：原則7営業日・判定依頼～承認：原則3営業日・発給申請～取得：原則2営業日 <p><コスト></p> <ul style="list-style-type: none">・発給費用：1件2,000円+500円× 産品数	<p><時間></p> <p>認定輸出者自ら原産地証明書を作成 することができるため、第三者証明制度と 比較すると短時間で書類準備が可能。</p> <p><コスト></p> <p>登録免許税法に基づく登録免許税： 9万円 認定更新手数料：5,000円 (電子申請の場合は4,550円) ※登録・更新費用以外は無料。</p>	<p><時間></p> <p>輸出者自ら証明するため、第三者証明 制度と比較すると短時間で書類準備が 可能。</p> <p><コスト></p> <p>日商手続きや経済産業省の認定など 公的手続きが不要な為、他の2つの 制度と比べコストもかからない。</p>

第三者証明制度

>

認定輸出者制度

>

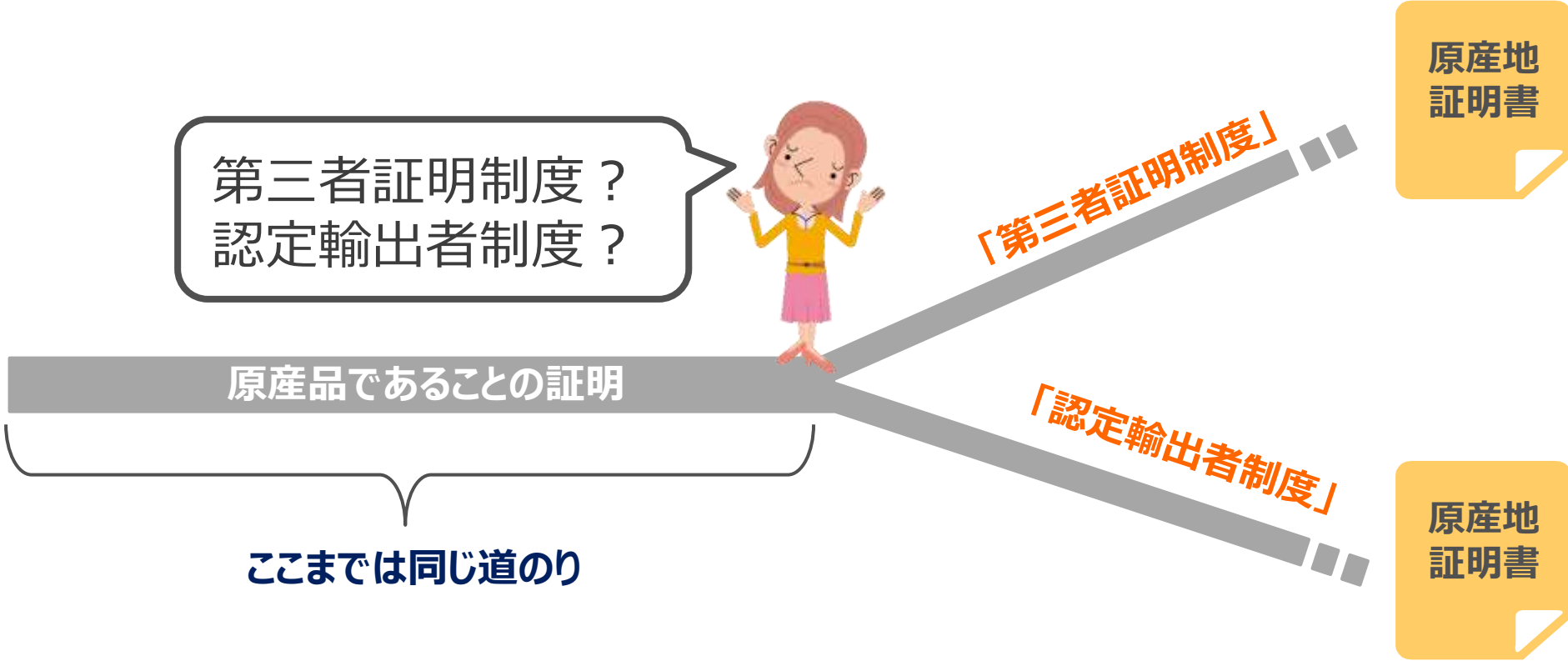
自己証明制度

*認定輸出者制度を採用している協定は、RCEP協定、日メキシコ協定、日スイス協定、日ペルー協定

詳しく👉

証明制度の違いとは・・・

原産地証明書の発行方法の違い



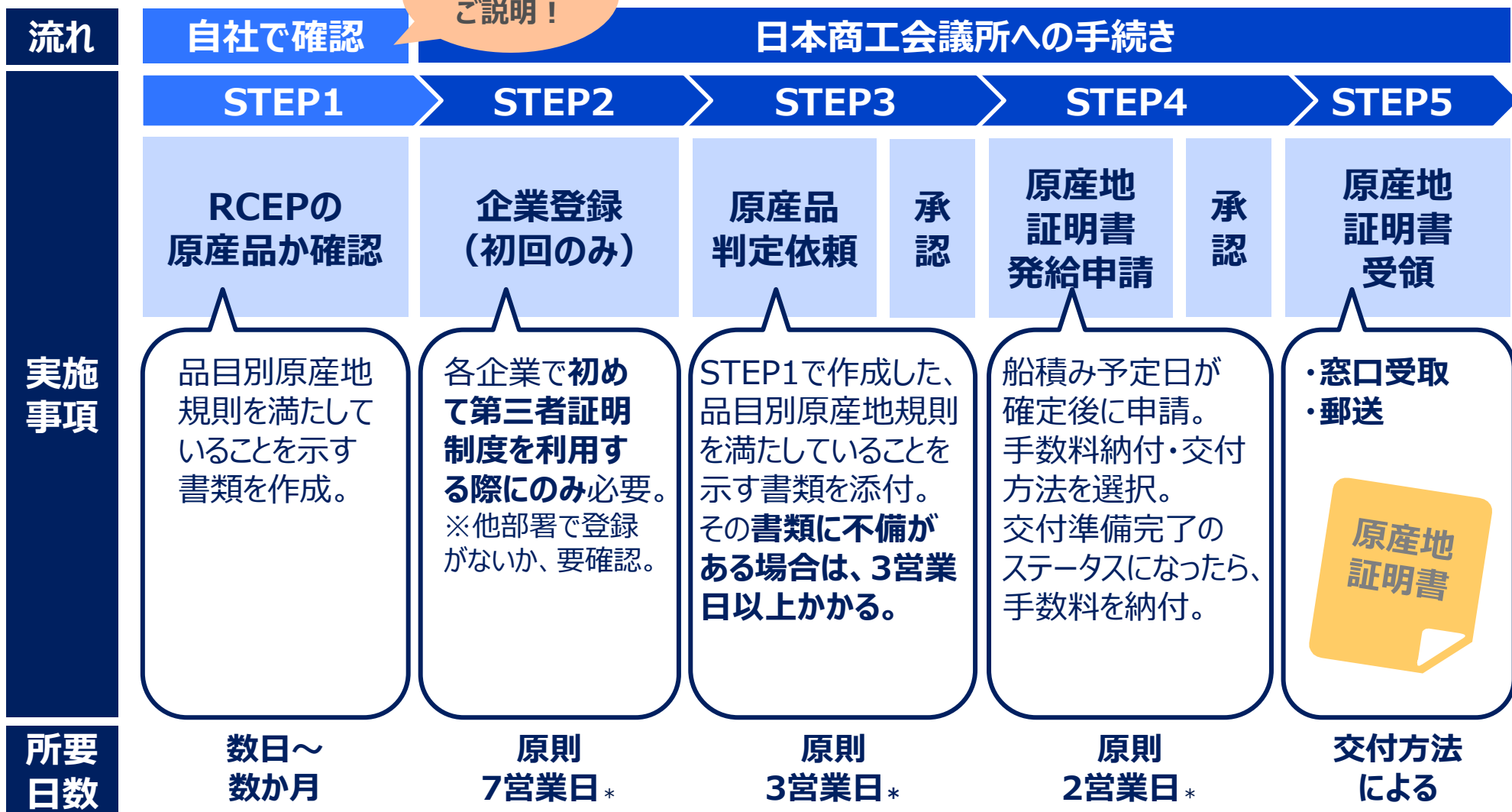
※自己証明証明制度についての説明を省略しています

第三部 RCEPを効率的に使いたい！

詳しく👉

第三者証明制度における手続きの流れ

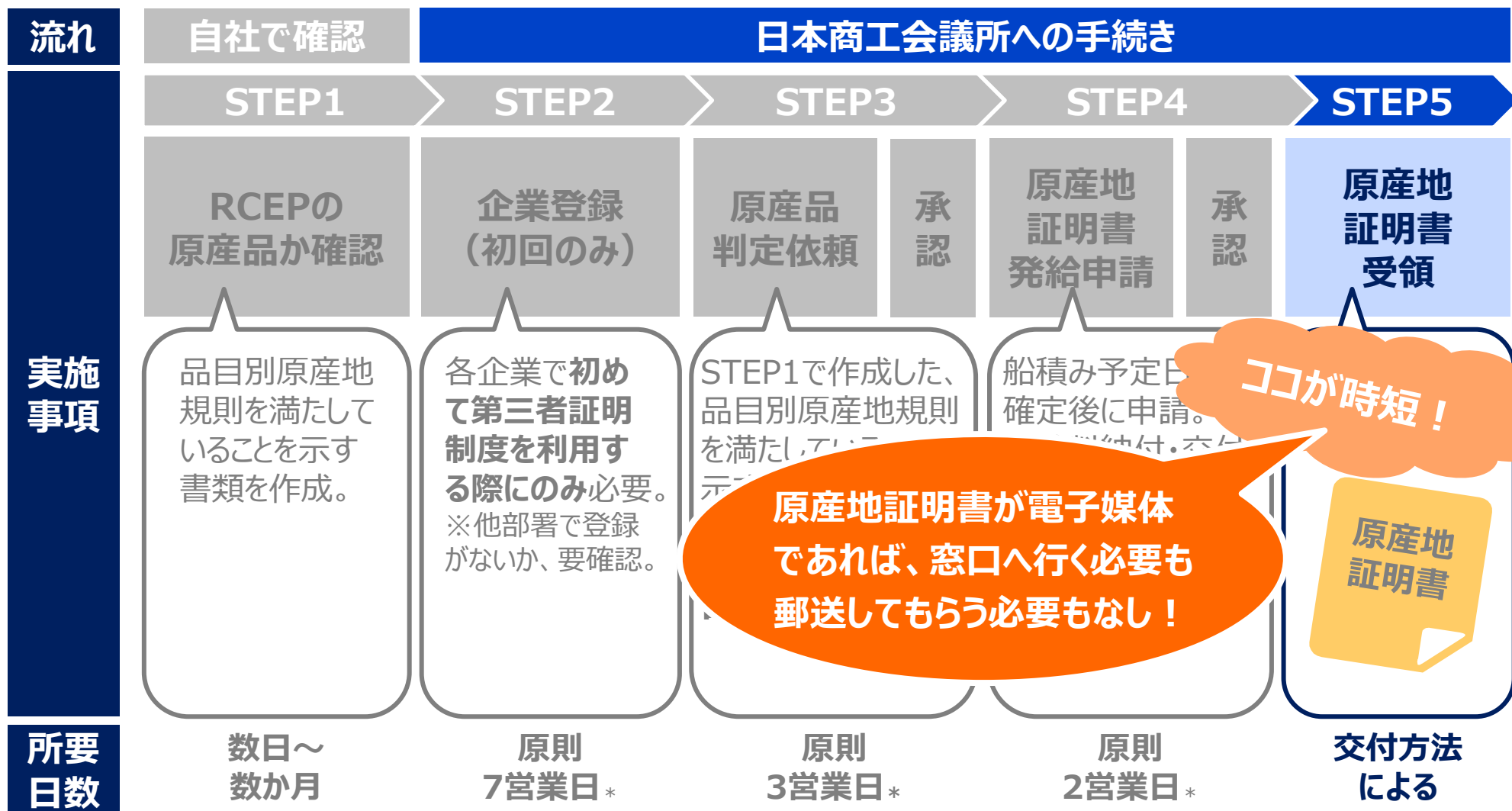
第2部にて
ご説明！



詳しく👉

第三者証明制度における手続きの流れ

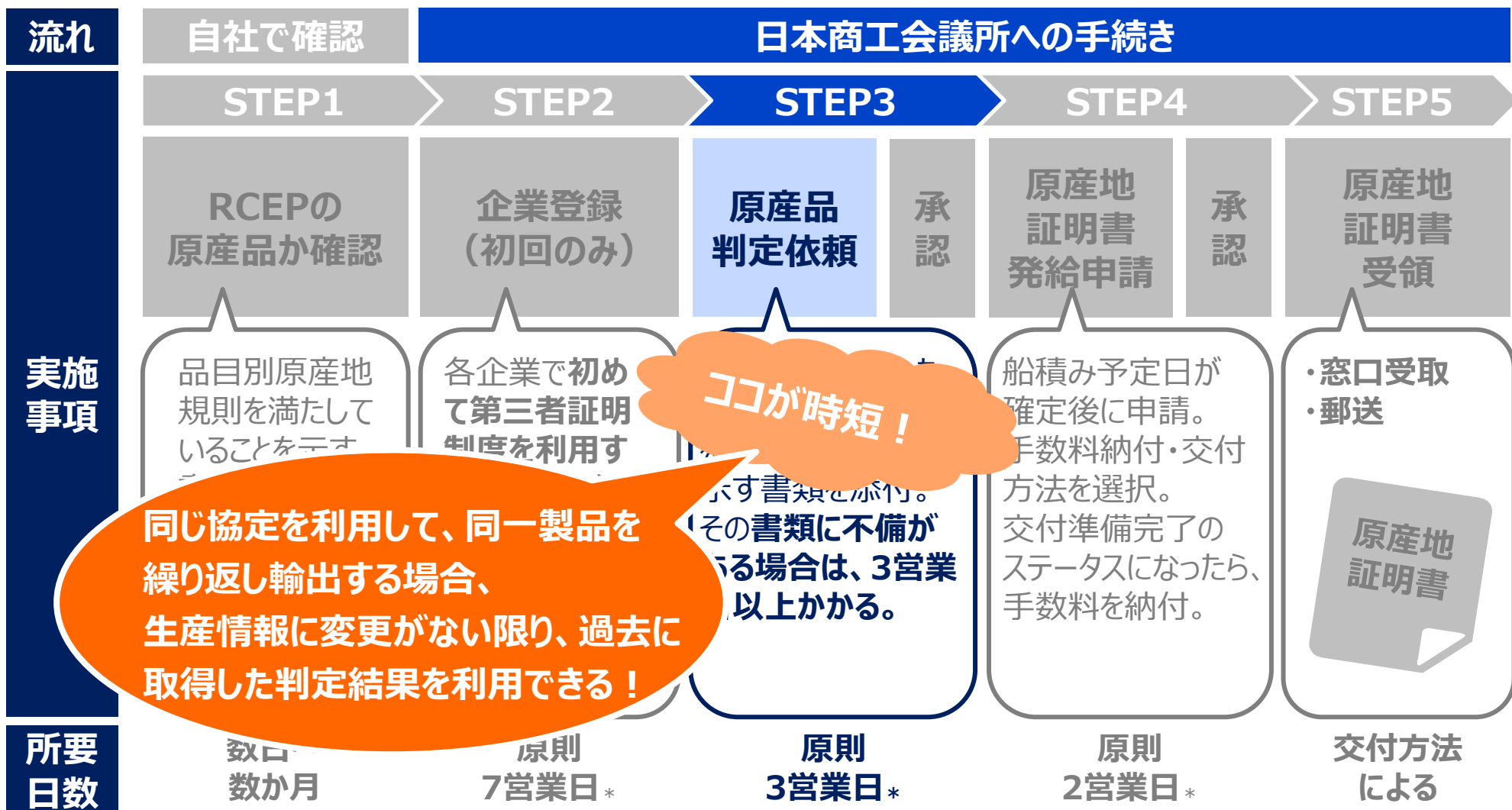
①原産地証明書の電子化



詳しく

第三者証明制度における手続きの流れ

②同一製品の過去の判定結果の利用



それでも、やっぱり、原則的に発給
申請した日に証明書を受けとることは
できないんですよ。
他に方法はありませんか？



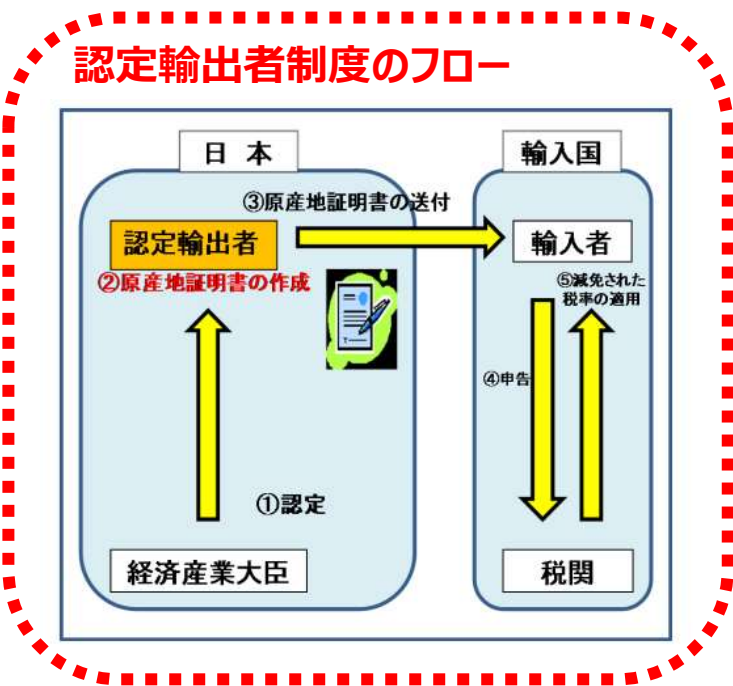
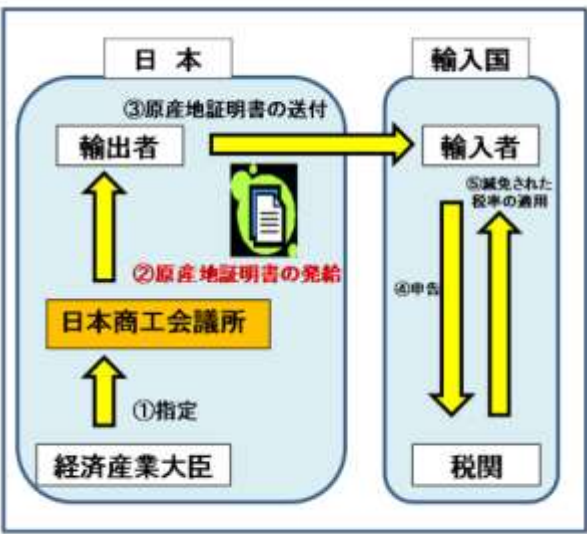
**その場合は、認定輸出者制度を
利用することをお薦めします。**

詳しく

認定輸出者制度とは・・・

経済産業省より認定を受けることで、
自社にて原産地証明書を発行できる制度

第三者証明制度のフロー

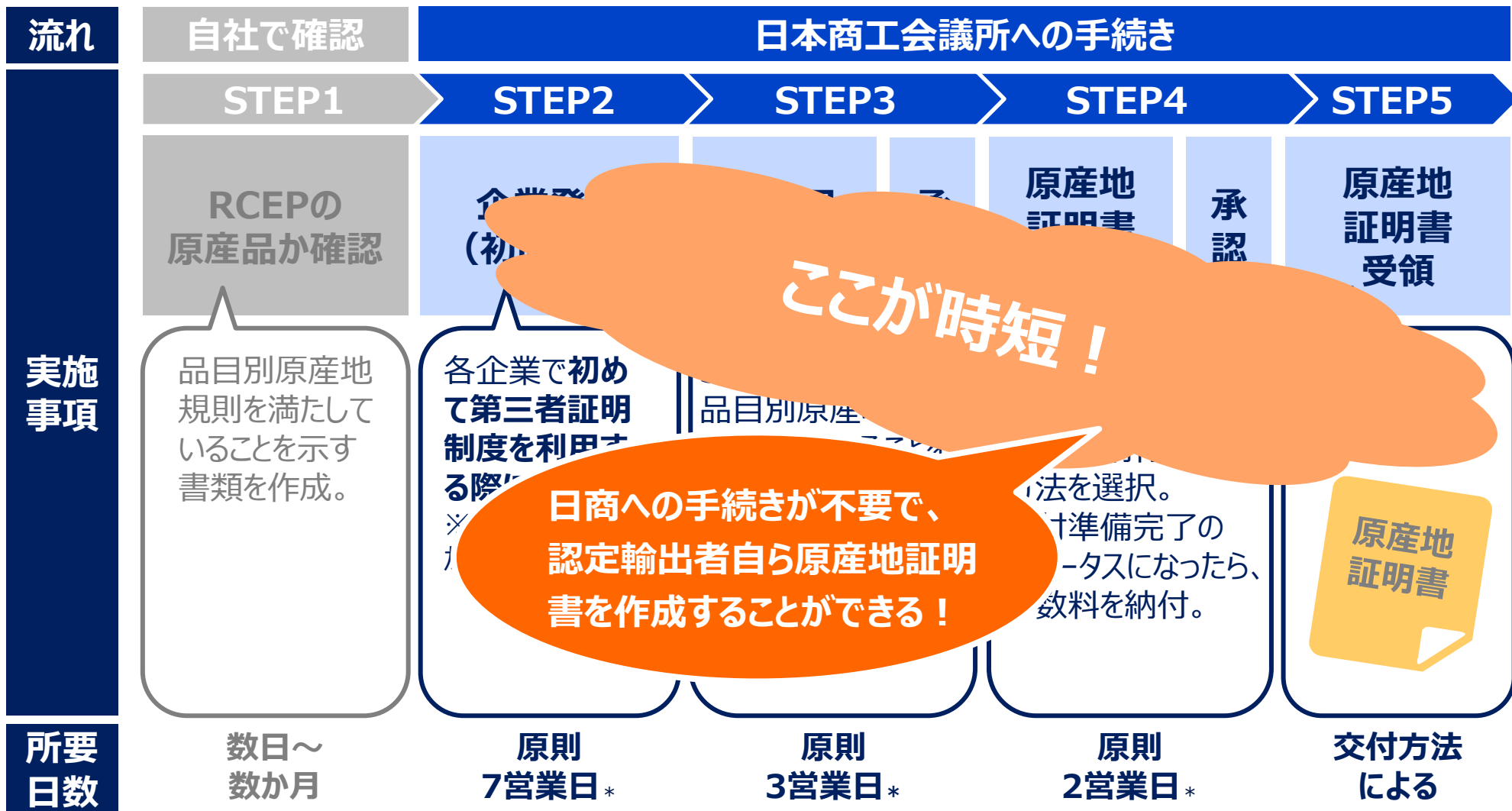


出所：経済産業省「原産地証明法に基づく認定輸出者について」
令和3年12月公表に基づく情報
https://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/boekikanri/download/gensanchi/1904ninteipr2.pdf

第三部 RCEPを効率的に使いたい！

例えば・・・

第三者証明制度と比べて、
どの位、原産地証明書取得までの時間を短縮できる？



例えば・・・

第三者証明制度と比べて、 どの位、原産地証明書取得にかかる費用を削減できる？

比較ポイント	第三者証明制度	認定輸出者制度
コスト	<p>※原産地証明書1件の発給に対して</p> <p>■ 1件2,000円 + (500円 × 産品数*) *インボイスに記載の産品数</p> <div> <div>2,000円</div> <div>原産地証明書</div> <div> 産品A (20回まで) 500円 産品B (20回まで) 500円 産品C (20回まで) 500円 </div> </div> <p>■ 同一製品の判定結果の使用回数が 20回を超えた場合、それ以降 (21回目から) : 50円</p> <div> <div>2,000円</div> <div>原産地証明書</div> <div> 産品A (21回目から) 50円 産品B (21回目から) 50円 産品C (21回目から) 50円 </div> </div>	<p>■ 登録免許税法に基づく登録免許税 : 90,000円 (初回のみ)</p> <p>■ 認定更新の際にかかる費用 ※認定の有効期間 3年 : 5,000円 (電子申請の場合は4,550円)</p>

例えば・・・

第三者証明制度と比べて、
どの位、原産地証明書取得にかかる費用を削減できる？

■ 事例① 原産地証明書1年に40件 (1件に同一の1産品を掲載していった場合)


比較ポイント	第三者証明制度	認定輸出者制度
コスト	<p>① $2,000\text{円} + 500\text{円} \times 1\text{産品} = 2,500\text{円}/1\text{件}$ $2,500\text{円} \times 20\text{回} = \mathbf{50,000\text{円}}$</p> <p>② $2,000\text{円} + 50\text{円} \times 1\text{産品} = 2,050\text{円}/1\text{件}$ $2,050\text{円} \times 20\text{回} = \mathbf{41,000\text{円}}$</p> <p> $2,000\text{円}$  </p> <p>合計① $50,000\text{円} + \text{② } 41,000\text{円} = \mathbf{91,000\text{円}}$</p>	<p>取得費用なし</p> <p></p> <p>登録免許税法に基づく登録免許税 : $\mathbf{90,000\text{円}}$ (初回のみ)</p>



例えば・・・

第三者証明制度と比べて、
どの位、原産地証明書取得にかかる費用を削減できる？

■ 事例② 原産地証明書毎月2件 (1件に同一の1産品を掲載していった場合) ×3年

比較ポイント	第三者証明制度	認定輸出者制度
コスト	<p>① $2,000円 + 500円 \times 1 = 2,500円/1件$ $2,500円 \times 20回 = 50,000円$</p> <p>② $2,000円 + 50円 \times 1 = 2,050円/1件$ $2,050円 \times 52回 = 106,600円$</p> <div> <div>2,000円</div> <div>原産地証明書</div> <div>500円 / 1産品</div> <div>×20</div> <div>+</div> <div>2,000円</div> <div>原産地証明書</div> <div>50円 / 1産品</div> <div>×52</div> </div> <p>合計①50,000円 + ②106,600円 = <u>156,600円</u></p>	 <p>まずは、自社にてどの程度、原産地証明書を取得しているのか、ご確認ください。</p> <p>定期的に取得する必要がある場合、時間的にもコスト的にも、認定輸出者制度を活用することをお勧めいたします！</p>
		<p>登録免許税法に基づく登録免許税 : <u>90,000円</u> (初回のみ)</p>
		<p>></p>



うまく使えば可能性広がる 認定輸出者

ポイント



認定輸出者制度を上手く活用すれば、
自社内でRCEPの手続き完了！
大幅な時短と、コストの削減が可能に！



ベトナムで他のEPAを使ったことがあるのですが、RCEPを使った方が絶対にお得になるのですか？



**必ずしもそうとは限りませんので、
複数のEPAが締結されている国への輸出においては
EPA税率の比較を行ってください！
比較をする際は、農水省の早見表を是非ご活用ください！**

農林水産省が公開している「EPA関税率早見表」を活用！



①「EPA利用早わかり」で検索

https://www.maff.go.jp/j/kokusai/renkei/fta_kanren/epa_n.html

農林水産省 English ミニサイト サイトマップ 文字サイズ 標準 大きく

逆引き事典から探す 組織別から探す キーワードから探す ENHANCED BY Google 検索

会見・報道・広報 政策情報 統計情報 申請・お問い合わせ 農林水産省について

ホーム > 国際 > EPA/FTA等に関する情報 > EPA利用早わかりサイト

EPA利用早わかりサイト

○EPA関税率早見表(※RCEPの関税率も掲載しました！)

- 主な農林水産品・食品のEPA関税率早見表(2022年1月1日時点)(EXCEL: 345KB)
- 主な農林水産品・食品のEPA関税率早見表(2022年1月1日時点)(PDF: 321KB)

※韓国のRCEP税率も記載していますが、韓国の発効は2022年2月1日です。

※実際に輸出される際には、輸出する品目のHSコードや関税率について、事前に相手国税関にご確認をお願いします。

※EPAで関税引き下げが約束されている品目でも、輸出先国の検疫措置等により、実際には輸出が停止又は条件が付されている場合がありますのでご注意ください。



② <1. EPAを利用してより有利な条件で輸出してみませんか>に掲載されている『EPA関税率早見表』を確認

早見表に掲載されていない製品については、農林水産省 EPA利用相談窓口にお問い合わせください。
epariyousoudan@maff.go.jp

※生鮮野菜・果実については、EPAで低い関税が設定されている場合でも、**輸出先国の検疫措置等により、実際には輸出が停止又は条件が付されている場合があります。**輸出先国の検疫措置の詳細については、農林水産省植物防疫所にお問い合わせ下さい。

また、EPA利用早わかりサイトにも情報掲載しておりますので、適宜ご参照ください。https://www.maff.go.jp/pps/j/search/e_hayami_kamotu.pdf

※輸出する製品のHSコードについては、事前に輸入国側の税関にもご確認ください。



農林水産省が公開している**EPA関税率早見表**を見てみましょう！

https://www.maff.go.jp/j/kokusai/renkei/fta_kanren/epa_n.html



地域	国名	協定名	使用する HSコード	第三者証明 (商工会議所)	自己申告 (自己証明)	認定輸出者	うどん・そば・そうめん		
							1902.19		
							MFN税率	EPA税率	PSR
アジア	ベトナム	日ベトナム	HS2007	○			20.0%	無税	CC
アジア	ベトナム	日アセアン (AJCEP)	HS2002	○			20.0%	5.0%	CC
アジア	ベトナム	CPTPP	HS2012		○		20.0%	3.3%	CC
アジア	ベトナム	RCEP	HS2012	○		○	20.0%	18.2%	CC

PSRとは品目別原産地
規則のことです！

➤ 農水省設置のEPA利用相談窓口とEPA利用早わかりサイト



- ✓ EPAを利用したら**関税が下がるの**…？
- ✓ そもそも**原産地規則**ってなに…？
- ✓ 商品の**HSコード、税率がわからない**…
- ✓ どの協定を利用すれば**一番お得なのか**、わからない…

- ✓ 日本商工会議所での**判定依頼**がうまくいかない…
- ✓ 適切な書類を準備したのに、輸出先国の税関で**特惠税率が認められず、MFN税率を支払わされた**…※ etc.



どんな些細な疑問にもお答えいたします。
わからないことや困っていること等がありましたら、お気軽に
epariyousoudan@maff.go.jpにご連絡下さい。



EPA利用早わかりサイト
QRコード

又はEPAを利用するために必要な情報を簡単に
入手できる「[EPA利用早わかりサイト](#)」をご覧ください。

※詳しくは6月10日付農水省プレスリリース「[EPA利用相談窓口へのアクセスで問題解決\(税関での超過支払いを是正\)!](#)」をご覧ください。



つ

い先日発効した新しいEPA = RCEP

か

くにんしょう！品目別原産地規則

お

友達の国と累積を！

う

まく使えば可能性広がる認定輸出者



つかおうEPA!



■ 本セミナーの流れ

第一部

EPAとは？

第二部

RCEPを使ってみよう！

－ 休憩



第三部

RCEPを効率的に使いたい！

生鮮品でも
効率的に使えます！

－ 質疑応答





事前質問をお寄せくださった皆さま、
誠にありがとうございます！！
ここで、簡単ではございますが、
第二部のおさらいも兼ねまして、
まずは、事前質問に対して、ご回答をさせて
いただきたいと思います。

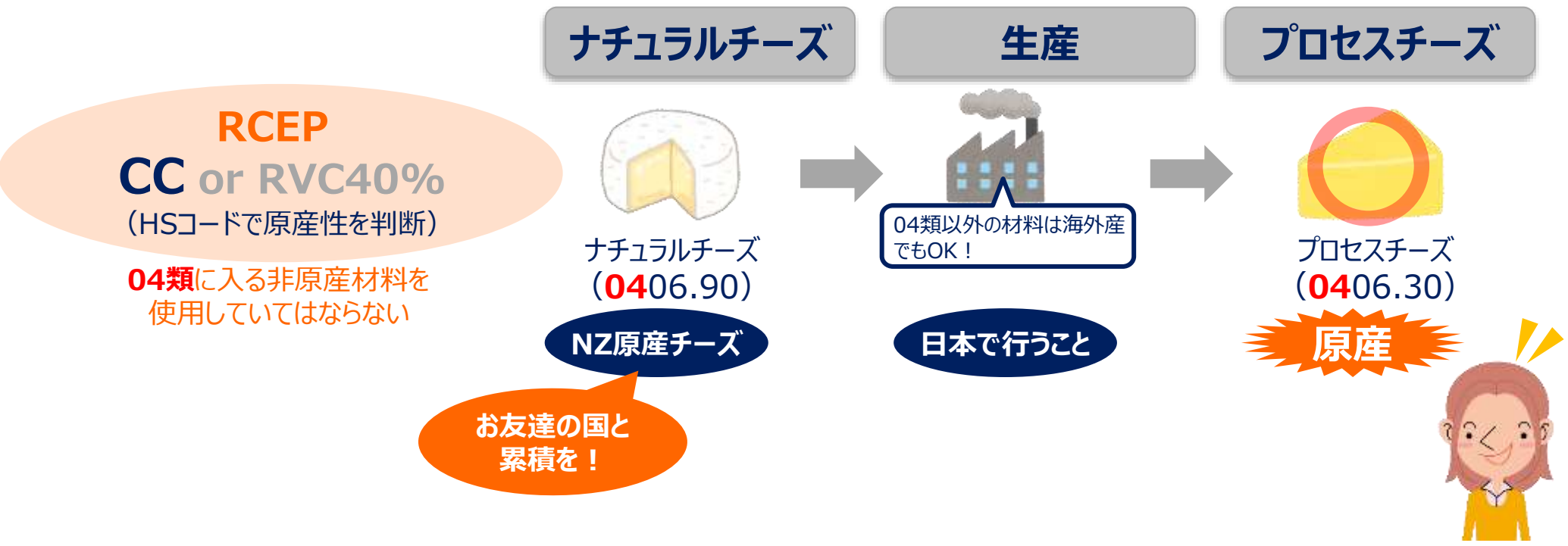
牛乳・乳飲料・乳製品（チーズ・バター等）でのRCEP活用事例を例示いただけると幸いです。

例えば・・・

ベトナムへの輸出の場合・・・



事例① RCEP加盟国の材料を使う場合



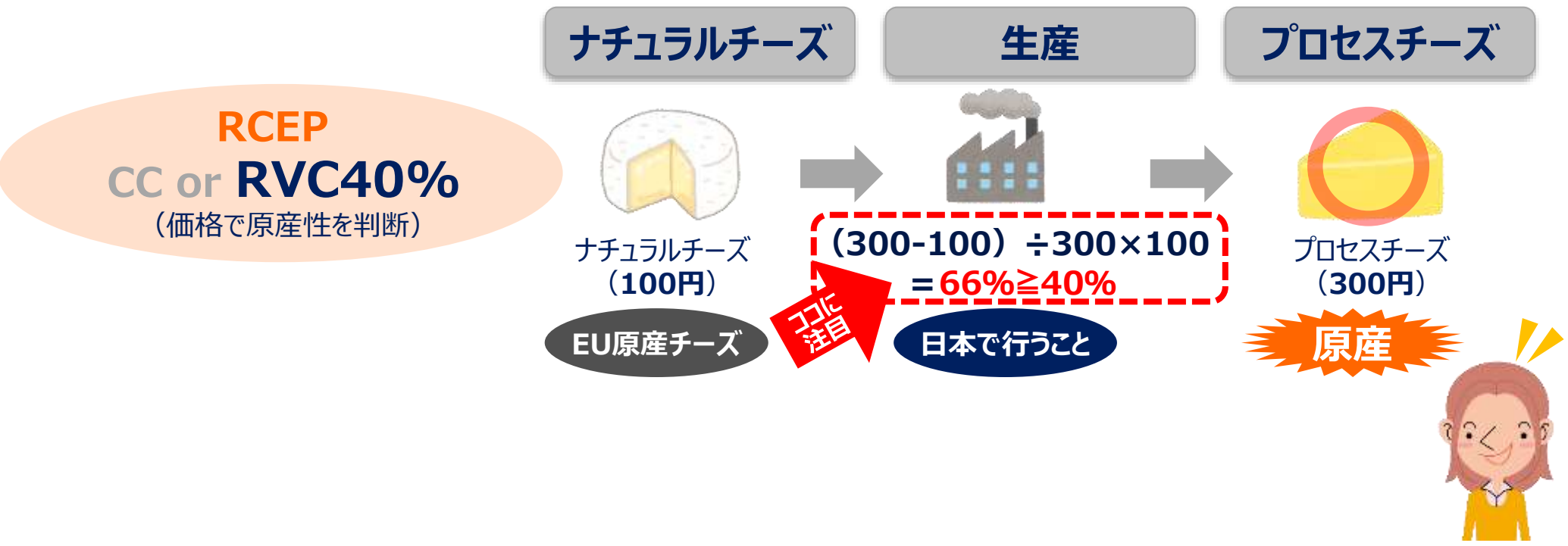
牛乳・乳飲料・乳製品（チーズ・バター等）でのRCEP活用事例を例示いただけると幸いです。

例えば・・・

ベトナムへの輸出の場合・・・

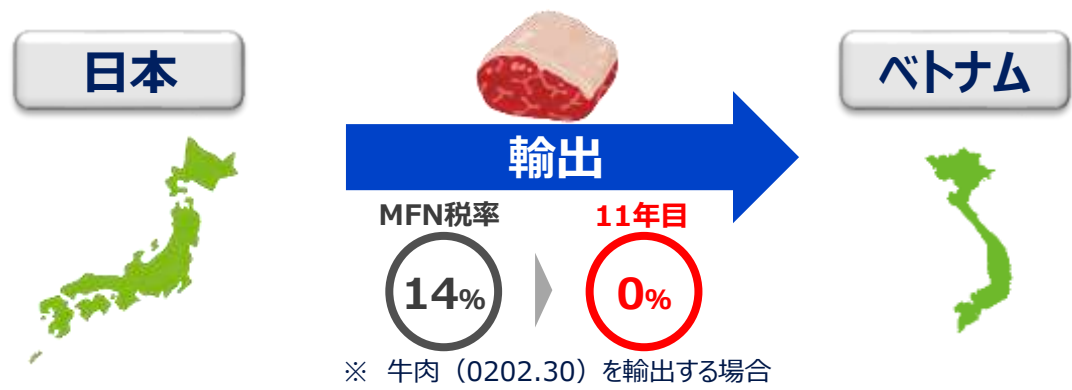


事例② RCEP加盟国外の材料を使う場合

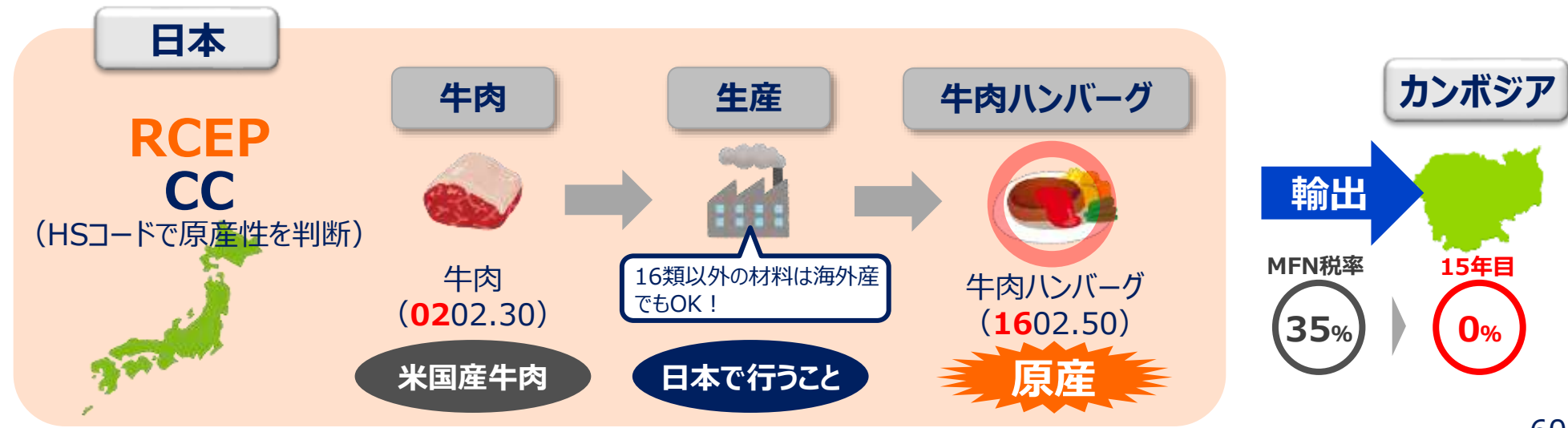


RCEPで食肉の輸出について期待できる点がありましたら、ぜひ、ご教授下さい。

事例① ベトナムへ牛肉を輸出する場合



事例② カンボジアへハンバーグを輸出する場合



ご清聴ありがとうございました！

